

日本年金機構における令和8年度の広報活動

令和8年度の 広報活動

社会全体におけるデジタル技術の進展や老齢年金の相談・請求件数の増加といった社会環境の変化を踏まえ、以下の実現に向けた広報活動を実施する。

- ・ 基幹業務の更なる推進
- ・ オンラインサービスの進展を踏まえたチャネル戦略の着実な実行
- ・ 施行が予定されている年金制度改正事項についての確実な実施

（基本方針）

対象事業や対象者の特性に応じて様々な手段を相互に連携させるとともに、適切なタイミングを計り情報を発信することで、それぞれの対象者に向けた、より効果的な広報活動を推進する。

■ 基幹業務_国民年金

- 国民年金育児免除制度の創設にかかる周知広報
- 口座振替・クレジットカード納付等、多様な納付方法の周知広報
- 外国人の円滑な年金手続きを促進するため、外国人支援団体や教育機関等の関係団体と連携した周知広報
- 低年金防止を目的とした追納制度の周知広報

■ 基幹業務_厚生年金保険

- 保険料調整制度の創設（R8.10）にかかる周知広報
- 短時間労働者の適用拡大（R9.10）に向けた周知広報

■ 基幹業務_年金給付

- 「老齢年金請求書」及び「扶養親族等申告書」の電子申請の利用者拡大に向けた周知広報
- 年金振込口座の公金受取口座への登録に向けた対応
- 在職老齢年金制度の見直し（R8.4）に係る周知広報

■ サービスのオンライン化

- 個人向けオンラインサービス
 - ・ 国民年金等の手続き、通知・情報提供、相談にかかる利用促進
 - 事業所向けオンラインサービス
 - ・ 中小規模の事業所への電子申請利用勧奨の強化
 - ・ オンライン事業所年金情報サービス（※）の拡充・利用促進
- （※）事業所に対し保険料額等を電子的に提供するサービス

■ 分かりやすい情報提供の推進（詳細はP2参照）

- 機構ホームページ等との連携による情報発信の強化
- お客様向け文書をより分かりやすくするため、「やさしい日本語」やピクトグラムを活用した情報発信の推進

■ 公的年金制度に対する理解の促進（詳細はP2参照）

- 年金セミナー・年金制度説明会等の充実
- 年金委員活動の活性化、地域や企業における年金制度の周知・啓発
- 「ねんきん月間」「年金の日」における取組の充実

■ その他の広報活動

- 多言語通訳サービスや年金相談のネット予約の利用促進に向けた周知広報

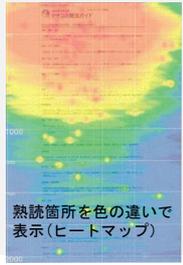
日本年金機構における令和8年度の広報活動 (分かりやすい情報提供の推進/公的年金制度に対する理解の促進)

● 分かりやすい情報提供の推進

① 機構ホームページの利便性の向上

- ・ 令和7年度はホームページの更改に伴い、トップページを始めとする主要ページのデザインや導線の整理を実施。
- ・ 今後も、より分かりやすく利用しやすいホームページの実現のため、アクセス解析ツールの導入や外部専門家の知見の活用等により、お客様目線での継続的な改善を行う。

分析ツールを活用したコンテンツの改善



- (方針)
- ・ 機構のチャネル戦略において目指す「ネットで極力完結する」サービス体系の構築に向けた、ホームページ内の導線の最適化やコンテンツの改善
 - ・ ホームページを中心とし、SNSなど多様な広報媒体を連携させた情報発信の強化

② 動画を活用した年金制度の周知

- ・ お客様の多様なニーズに対応できるよう、動画による情報提供の更なる充実を図るとともに、視聴しやすいショート動画等による発信を強化。
- ・ 機構の公式YouTubeチャンネルの開設や品質の向上に向けた対応。

③ 「やさしい日本語」やピクトグラムを活用した情報発信

- ・ 高齢者、障害者及び外国人など、多様なお客様に対しより分かりやすい発信を進めるため、「やさしい日本語」やピクトグラムの活用を推進。

(例) 外国語で年金相談を受けたいお客様向けに、通訳サービスの概要や利用方法等を「やさしい日本語」でまとめた動画及びリーフレットを作成



● 公的年金制度に対する理解の促進

① 年金セミナー・年金制度説明会等の充実

- ・ より若い世代に年金制度に対する正しい知識と理解を深めていただくことにより、将来の制度加入や保険料納付に結び付け、公的年金制度の安定的な運営に繋げることを目的として、年金セミナーの主な対象をこれまでの高校生・大学生・新社会人から中学生にも拡大。
- ・ 重点取組として「オンラインサービスの推進」及び「外国人への適用・収納対策」を軸とした積極的な取組を実施。
⇒事業所担当者や年金委員に加え、外国人の方々に説明会を実施。

② 「ねんきん月間」「年金の日」の取組の充実

- ・ 令和7年度に全国展開を行った「こども絵画展」「年金ポスターコンクール」の継続・定着。また、保護者等を対象とした「ねんきん教室」(年金セミナー・制度説明会)の実施。
- ・ 「ねんきん月間」「年金の日」の各種取組に係る市区町村等関係団体やマスコミ等への広報の協力依頼。



(参考) 令和7年度広報活動の実績報告① (基幹業務関係／ホームページ等)

外部団体等との連携

対象となる方へ効果的な周知を行うため、民間企業や外国人支援団体等と連携した広報を実施。

【国民年金制度】

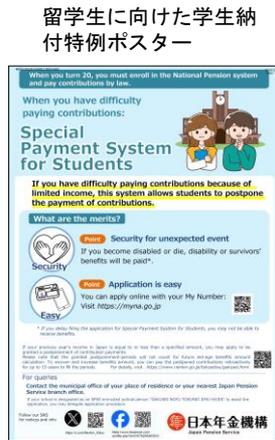
- ・乳幼児商品を販売する民間企業等と連携し、産前産後免除制度に係る制度周知ポスターの掲示やアプリやホームページへの記事掲載を依頼
- ・生活困窮者等に対する国民年金保険料の免除手続きや産前産後免除の制度周知を図るため、社会福祉協議会と連携した免除の手続きに係る相談支援やリーフレットの設置を依頼
- ・大学等と連携し、留学生に向けて学生納付特例制度に係るポスター及びリーフレットの設置を依頼
- ・各地域の国際交流協会や技能実習制度における監理団体へ、窓口での国民年金手続きに係るリーフレット配布やホームページへの記事掲載を依頼

【その他】

- ・遠隔手話通訳サービスを利用した年金相談について、聴覚障害者情報提供施設及び全国社会福祉協議会へ周知



産前産後免除制度周知ポスター



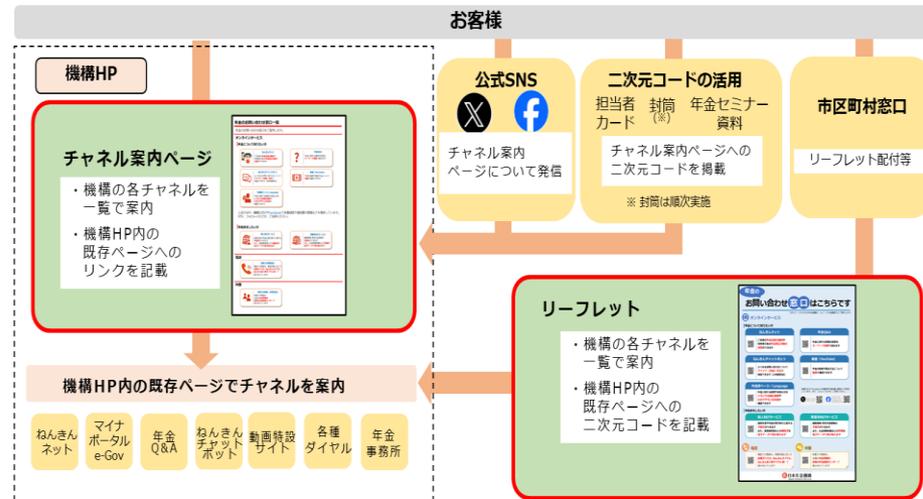
留学生に向けた学生納付特例ポスター



遠隔手話通訳サービスリーフレット

お客様窓口の一元的な案内ページの作成

オンラインサービス（ねんきんネット等）、Q & A、電話や対面窓口などの情報を一元的に案内する「チャンネル案内ページ」を機構ホームページに新設するとともに、案内ページに誘導する二次元コードを活用しながら機構公式SNSなど様々な媒体により幅広く周知。



ホームページのデザイン及びサイト構成の見直し

ホームページの更改（R8.3）に伴い、次のコンセプトでトップページをはじめとするデザインやサイト構成の見直しを実施。

＜コンセプト＞

- ①利用者属性（個人/事業所の方）に応じた情報へのたどり着きやすさの改善
- ②オンラインサービスへの導線強化
- ③年金の知識の少ない方でも分かりやすい「目的別メニュー」をメインに設置

更改後のトップページ



(参考) 令和7年度広報活動の実績報告② (年金セミナー・制度説明会の開催/エッセイの募集等)

年金セミナー



高校生・大学生等に年金制度の意義や仕組みについて理解を深めていただくための「年金セミナー」を、各学校のニーズやご要望に応じて対面、オンライン、動画提供により実施。

実施回数： 2,828回 (前年同期比 +635回)

参加人数： 136,717人 (前年同期比 +21,487人) [令和7年12月末現在]

【年金セミナー用動画】



対面やオンラインでの実施が困難な教育機関に対しては、動画を案内したリーフレットやDVDを配付。

ねんきん月間・年金の日



ねんきん月間期間中は、公的年金制度の普及・啓発活動を集中的に実施するとともに、厚生労働省と連携し、PRオートメーションによるメディアへの情報提供を実施。年金の日(11月30日)に全ての年金事務所で年金相談を実施したほか、商業施設等での出張年金相談、税務署と連携したオンラインサービスの説明会、国際交流協会と連携した外国人向け年金相談等の取組を実施。

「わたしと年金」エッセイ



年金の大切さや意義を考えていただく機会として、6月～9月の間エッセイを募集。全国から1,987件の応募があり、11月27日に厚生労働省で表彰式を実施。また、過去の受賞作品をアニメーション化し、機構ホームページに公開。

品質の向上



年金制度説明会



適正な届出の励行のため、短時間労働者適用拡大や事業所調査時における指摘の多い事例等の説明会を実施。

実施回数： 2,960回 (前年同期比 +825回)

参加人数： 145,599人 (前年同期比 +42,995人) [令和7年12月末現在]

セミナーの品質向上のため、セミナー講師の養成研修を実施。併せて、職員のプレゼンスキルを競い合うコンテストを実施。また、こども家庭庁の「こども若者★いけんぶらす」を活用し、小・中学生からセミナー資料の改善に向けた意見を聴取。

